

# 循環器内科

安村 良男

循環器疾患は高齢化社会を反映して、1)動脈硬化を基礎としている、2)疾患が複合している、2)増加傾向にある、などの特徴がある。治療においては病態の解析が進歩し、症状の改善をめざすだけでなく、予後の改善をめざすことが基本となってきている。個々の仮説は大規模臨床試験で実証され、この試験結果に基づいたガイドラインが作成されている。我々、循環器医には直面している診療にガイドラインが適応されるか否か、その判断が問われると伴に個々の症例の特殊性に対応する柔軟性が要求されている。

虚血性心疾患：過去および将来的にも、この治療は循環器科の基本であり、当センター循環器科においても入院の約半数は虚血性心疾患またはその疑いである。虚血性心疾患の治療においては、最適の治療法を選択する医療レベルと冠動脈形成術の一流のスキルが要求される。この要求に沿う医療を提供する。また、虚血性心疾患の二次予防を重視する。特に、高血圧、糖尿病、高脂血症やメタボリック・シンドロームの治療に重点をおいている。

心不全：心不全は急性期治療と慢性期治療からなるが、いずれも幅広い知識と経験を要する。特に高齢者心不全に対する対応が重要である。急性期治療においては予後改善をめざした治療法の確立に取り組んでいる。

重症心不全：拡張型心筋症は難病（特定疾患）の一つであるが、循環器科では、本疾患を含む重症心不全治療を重点課題の一つとしている。

不整脈診療：頻脈性不整脈に対する基本的なカテーテルアブレーション治療を提供する。また、高齢者心房細動に対して積極的にワーファリンを導入し、心原性脳梗塞の予防を行っている。

心原性脳塞栓の予防：高齢者の一次予防で重要なものに心原性脳塞栓がある。心原性脳塞栓のうち約半数は非弁膜性心房細動(NVAF)が原因であり、70才以上の高齢者で NVAF が飛躍的に増加することから、この疾患群における脳梗塞の予防は極めて重要である。1998年4月より塞栓予防を目的とした「心房細動外来」を開設し、ハイリスク患者に予防的にワーファリンを使用することにより一次、二次予防に努めてきた。この分野において当院は全国でもオピニオンリーダー的存在であり、今後ワーファリンにかわる新しい抗凝固薬の開発治験にも大きな役割を果たしている。

## 【2011年度研究発表業績】

A-2

安村良男：慢性心不全の薬物治療 利尿薬、心不全ケア教本 n メディカルサイエンスインターナショナル 真茅みゆき編集 2012 3 月 8 日

安村良男：高齢者の慢性心不全でも、 $\beta$  遮断薬はリスクを軽減するか？EBM 循環器疾患の治療 小室一成ら編集 中外医学社 2012 3.20

A-3

安村良男：急性心不全治療における薬剤選択 水分負荷と血管不全に配慮して ICU と CCU 2011;35:51-54

乾礼興、安村良男、楠岡英雄：徐脈頻脈症候群を合併した冠攣縮性狭心症に対する Ca 拮抗薬の使用 *Circulation Up-to-Date* 2011;6:128-131

安村良男：慢性心不全の薬物療法 内科 2011;108:32-36

安村良男：性心不全の急性増悪の予防と治療 日本医師会雑誌 2011;140:724-728

安村良男：収縮不全の慢性心不全治療の進め方 カレントセラピー 2011;29:23-27 平成 23 年 10 月 1 日

安村良男：ドパミンの血圧上昇作用 日本医事新報 2010;4578:55

坂口大起：慢性腎臓病合併心不全に対してトルバプタンがうっ血の解除に有効であった 1 例 *Fluid Management Renaissance* 2012;2:93-96

#### A-4

安村良男：心拍数と心不全 心臓 2011;43:1402-1405

安村良男：高齢者および超高齢者の心不全の対処の基本と指針 心不全—急性期 *Medical Practice* 2012;29:192-197

#### B-2

Koide Masao : Histological findings of myocardium in patients with idiopathic ventricular fibrillation *EUROPACE* バルセロナ 2011.06.27

Tatsunori Taniguchi : Clinical implications of thoracic fluid accumulation in patients with mild to moderate chronic heart failure. *Heart Failure* 2011 Gothenburg, Sweden 2011 4 月

Tatsunori Taniguchi : Abdominal fluid content (AFC): a new parameter for assessment of systemic venous congestion in patients with acute heart failure. *Heart Failure* 2011 Gothenburg, Sweden 2011 4 月

#### B-3

濱野 剛：大動脈弁狭窄症を合併した高齢者急性心不全の治療 第 75 回 日本循環器病学会学術集会 ファイアサイドセミナー 横浜 2011 8.3-4

安村良男：急性心不全から慢性心不全心不全 血行動態ガイド治療の是非 第 59 回日本心臓病学会 ランチョンセミナー 神戸 2011 9.23

安村良男：急性心不全治療における PDE III 阻害薬の位置づけ 第 59 回日本心臓病学会 ファイアサイドシンポジウム 神戸 2011 9.24

安村良男：The arrival of the global standards era of the  $\beta$ blocker therapy in Japan.  
アジア太平洋不整脈学会 ランチョンセミナー 福岡 2011 9.19

#### B-4

小出雅雄：Clinical implication of vascular failure in clinical scenario 1 in patients with acute heart failure.  
第 75 回 日本循環器病学会学術集会 横浜 2011 8.3-4

小濱康明：Difference of the effects on cardiac function and neurohumoral factors between carvedilol and bisoprolol in patients with chronic heart failure. 第 76 回 日本循環器病学会学術集会 福岡 2012 3.18

Taniguchi Tatsunori：Abdominal fluid content may be a surrogate measure for fluid accumulation in patients with acute heart failure syndrome. 第 76 回 日本循環器病学会学術集会 福岡 2012 3.17

Shin-ichi Momomura, Yoshihiko Seino, Yasuki Kihara, Yoshio Yasumura, Hitoshi Adachi, Hiroyuki Yokoyama & The SAVIOR-R investigators：Adaptive servo ventilation improved symptoms and cardiac function in patients with chronic heart failure regardless of accompanying sleep disordered breathing. 第76 回 日本循環器病学会学術集会 福岡 2012 3.17

濱野 剛：トルバプタンによって著しい水分貯留から離脱できた心アミロイドーシスの一例 第 15 回に本心不全学会学術集会 鹿児島 2011 10.14

宮崎宏一：高血圧合併の有無による拡張型心筋症によるビソプロロールとカルベジロールの左室駆出率改善効果の比較 第 15 回に本心不全学会学術集会 鹿児島 2011 10.15

三浦弘之：サルコイドーシスと拡張相肥大型心筋症の鑑別に難渋した一症例 第 31 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会 名古屋 2011 10.21

濱野 剛：ASV の血行動態と神経体液性因子に及ぼす急性効果 第 59 回日本心臓病学会 神戸 2011 9.25

小出雅雄：慢性心不全患者における胸郭内水分量モニターの臨床的意義 第 59 回日本心臓病学会 神戸 2011 9.24

#### B-6

三浦弘之：脳梗塞を契機に発見された左室心尖部の乳頭状線維弾性腫の一例 第 111 回日本循環学会近畿地方会 神戸 2011 06.25 神戸 2011 06.25

乾 礼興：CRT を植え込むことなく、 $\beta$  遮断薬にて NYHA I で経過している完全左脚ブロックを伴う収縮不全の 2 症例 第 111 回日本循環学会近畿地方会

三浦弘之：たこつぼ型心筋症を合併した結核性心膜炎の一例 第 195 回内科学会近畿地方会 京都  
2012.12.17

三浦弘之：複視を伴う心筋炎の一例 第 112 回日本循環器学会近畿地方会 京都 2012.11.26

宮崎宏一：AIT により心不全治療に難渋し、塩類喪失性腎症も合併した拡張型心筋症の一例第 112  
回日本循環器学会近畿地方会京都 2012.11.26

#### B-8

安村良男：慢性心不全における交感神経抑制の効果 第 1 回阪神心不全研究会 西宮 2011.5.19

安村良男：心不全治療の新しいオプションとしての ASV オートセット CS 学術講演会 名古屋  
2011.5.21

安村良男：慢性心不全治療における  $\beta$  遮断薬の役割 第 40 回県北臨床循環器懇話会 佐世保  
2011.6.3

安村良男：うっ血は心不全治療のターゲットである 心不全治療研究会 大阪 2011.6.4

安村良男：心不全の標的としてのうっ血 なぜおこるか、どう治療するか 心不全学術講演会 長崎  
2011.6.16

安村良男：急性心不全の病態と治療 心不全セミナー 岡山 2011.6.24

安村良男：慢性心不全治療における  $\beta$  遮断薬の役割  $\beta$  遮断薬学術講演会 仙台 2011.7.13

濱野 剛：入院時、血圧の高い cardiac failure の一例 第 15 回臨床心不全フォーラム 大阪  
2011.7.13

安村良男：急性心不全の病態と治療 北海道セミナー 北海道 2011.7.30

安村良男：心不全における体液貯留の治療戦略 心不全とサムスカを考える会 大阪 2011.9.14

安村良男：慢性心不全治療における  $\beta$  遮断薬の役割 京都循環器先進医療ネットワーク 京都  
2011.9.20

安村良男：慢性心不全治療における  $\beta$  遮断薬の役割 Young Opinion Leaders Academy 神戸  
2011.9.22

安村良男：慢性心不全治療における  $\beta$  遮断薬の役割  $\beta$  遮断薬の真のパラダイムシフト 山口  
2011.9.30

安村良男：急性心不全の治療ターゲットは何か？ 第15回高知心不全研究会 高知 2011.10.7

安村良男：慢性心不全におけるグローバルスタンダード メインテート全国講演会 東京  
2011.10.8

(座長) 安村良男：ARB と CCB の腎保護作用と腎内 RAS 高血圧学術講演会 大阪 2011.10.29

安村良男：慢性心不全の病態と治療 第100回いわき心疾患勉強会 いわき 2011.10.31

安村良男：心不全における体液貯留の治療戦略 水利尿を考える会 姫路 2011.11.2

安村良男：心不全における体液貯留の治療戦略 心不全と水利尿を考える会 金沢 2011.11.4

安村良男：心不全における体液貯留の治療戦略 水利尿を考える会 東京 2011.11.7

安村良男：慢性心不全治療における  $\beta$  遮断薬の役割 第5回信州心不全研究会 松本 2011.11.17

安村良男：慢性心不全における交感神経抑制の効果 第15回神戸東ハートクラブ 神戸 2011.11.19

安村良男：慢性心不全治療における  $\beta$  遮断薬の役割 メインテート学術講演会 秋田 2011.11.22

(座長) 安村良男：オートセット CS による心不全患者治療-設定、受け入れ、予後について 第112  
回日本循環器学会近畿地方会 大阪 2011.11.26

安村良男：慢性心不全治療における心拍数減少の意義 第28回国際心臓研究学会日本部会 東京  
2011.12.3

安村良男：心不全における体液貯留の治療戦略 学術講演会 佐賀 2011.12.4

安村良男：急性心不全の病態と治療 ハンプフォーラム in KOKURA 小倉 2011.12.22

安村良男：心不全における体液貯留への治療戦略 明石心不全カンファレンス 明石 2012.1.19

安村良男：PDEII 阻害薬は血管拡張か？強心薬か？ 第8回急性心不全研究会 大阪 2012.1.28

安村良男：急性心不全の病態と治療 心不全治療セミナー 太田 2012.1.30

(座長)安村良男:左室・僧帽弁連関;一次性および二次性テザリング Heart Failure Thema Park 2012  
東京 2012.2.18

安村良男:新宿心不全講演会 新宿心不全講演会 東京 2012.2.24

安村良男: Young Cardiologist & Diabetologist Meeting Young Cardiologist & Diabetologist  
Meeting 大阪 2012.3.27

B-9

安村良男:虚血性心疾患に伴う心不全 ラジオ NIKKEI 心臓財団 虚血性心疾患セミナー 2012  
2.14